





授業計画（演習）						
回	日付	ユニット	行動目標（SBOs）	学習方略（LS）	授業担当者	コアカリ／国試出題基準
1	9/6	選択説明	1. 教養演習のコースを選択するために概論を対比できる。 2. コースを選択することができる。	資料や板書により、各コースの概要をコース担当者が説明する。	コース担当者全員	
2	9/13	の序論と歴史	1. 方法論の3つの意味が説明できる。 2. 何を研究課題として取り上げ、それにどう主体的に取り組むかが方法論の重要な意味であることを説明できる。 3. 歴史ができごとの羅列ではなく、言葉による説明、即ち認識であり、考古学、民族学、言語学や神話とは異なることを理解できる。	板書しながら解説する。配付資料をもとに解説する。	小野田正樹	
3	9/27	7世紀初頭の日本列島の状況	『隋書』と『日本書紀』の記述の相違について理解し、『日本書紀』の記述が必ずしも史実を伝えたものでないことを理解できる。	『隋書』『倭国伝』と『日本書紀』の記事を取り上げ、両者の比較検討を行なう。	小野田正樹	
4	10/4		//	//	小野田正樹	
5	10/18	『日本書紀』	4・5回の講義をふまえ、『日本書紀』がわが国初の歴史書であることを知り、それが日本の建国を正当化し、天皇という世襲制の君主の正当性を示す目的で編さんされたものであることを理解できる。	配付資料をもとに解説する。	小野田正樹	
6	10/25	中国文献に現れた日本列島の歴史	1. 『漢書』『地理志』に日本列島の住民が「倭」としてはじめて現れることを知り、その記事について理解できる。 2. 『後漢書』『東夷伝』にみえる日本列島の実態について「漢委奴国王」の金印と関連づけて理解できる。 3. 『魏志倭人伝』に描かれている3世紀の日本列島の実態について理解できる。	//	小野田正樹	
7	11/1	4世紀後半以降の日本列島の政治状況	478年、倭王・武が南朝の宋の順帝に送った手紙の内容から、当時の日本列島の政治状況を理解できる。とくに、仁徳天皇が最古の倭国王であることを理解できる。	『宋書』『倭国伝』を読み、具体的に解説する。	小野田正樹	
8	11/8	7世紀前半の東アジア世界の状況	当時の中国、朝鮮半島の政治状況を理解し、それが倭国に与えた影響について理解できる。	唐の膨張政策が朝鮮半島や日本列島の国々に政治的に大きな影響を与えたことを中心に説明する。	小野田正樹	
9	11/15	「倭国」から「日本国」へ	『日本書紀』の記事と、『三国史記』『新羅本紀』と『新唐書』の記事を比較検討し、669年から670年にかけて、「倭国」が「日本国」にかわったことを理解できる。	三者の記事を比較して、それぞれの記事の背景にひそむ意味について考えてもらう。	小野田正樹	
10	11/22	天智天皇の即位とその政治	1.668年に天智天皇が近江の天津で即位したことを理解できる。 2. 天皇号の初出の確実な史料が668年12月の銘がある「船首王後墓誌」であることを理解できる。 3. わが国初の成文法典である近江律令が668年に制定されたことを理解する。 4.670年に、わが国初の戸籍である庚午年籍が造られたことを理解できる。 5.671年、近江律令が施行され、中央政府の官職が初めて任命されたことを知る。これらのことから、天智天皇が即位した668年が日本国の成立であり、天智天皇が日本国の創建の君主であることを理解する。	関連する史料を提示し、その中から史実を把握することをめざす。	小野田正樹	
11	11/29		//		小野田正樹	
12	12/6		//		小野田正樹	
13	12/13	日本国成立当時の国際状況	天智天皇が668年に日本国を作った背景には当時の中国を中心とする東アジアの国際状況が密接に関係していたことを理解する。とくに663年の白村江の戦いで、倭国が唐・新羅連合軍に敗れた結果、大陸と朝鮮半島から完全に締め出されてしまったことが、日本国の成立にとってきわめて重要であることを理解できる。	日本列島と、大陸・朝鮮半島の政治史を年表を用いて説明する。	小野田正樹	
14	12/20	結論	日本国の成立が東アジアの政治状況と密接に関連することを知らると共に、現在われわれ日本人が直面しているさまざまな問題が668年以降の日本国の長い歴史的背景に起因していることを理解する。	日本国の歴史に関するさまざまな問題点について指摘させ、それについて考えてもらう。	小野田正樹	
15	( / )	合学習	1回から14回までの総復習		小野田正樹	